

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

地方議会がこうした時代の要請に応え、その役割を十分に果たしていくためには、これまで以上に国民の政治参加を促し、多様な層の人材を確保していくことが必要であり、この環境整備の一つとして年金制度を時代にふさわしいものとするのが人材の確保につながっていくと考える。

よって、国においては、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成28年12月15日

衆議院議長	大島理森様
参議院議長	伊達忠一様
内閣総理大臣	安倍晋三様
総務大臣	高市早苗様
財務大臣	麻生太郎様
厚生労働大臣	塩崎恭久様

いわき市議会議長 菅波 健